

抗インフルエンザウイルス薬の備蓄について

新型インフルエンザ対策における抗インフルエンザウイルス薬の備蓄については、国と都道府県の双方において国民の45%相当分を備蓄することを目標に進めています。滋賀県の現時点での備蓄目標量と備蓄量は次のとおりです。

滋賀県の抗インフルエンザウイルス薬備蓄量

(単位：人分)

抗インフルエンザ薬 備蓄目標総数	備蓄薬	備蓄目標量	備蓄量
276,800	タミフル	262,100	179,700
	リレンザ	14,700	14,700

平成21年12月24日現在

行政サービス等の「値札」		
新型インフルエンザの流行に伴い治療薬が不足した場合備蓄薬を供給します。タミフルの備蓄には次の経費を要しています。		
経費	377,765,000円	購入費、職員の人件費等
1人分(10カプセル)当たり	2,102円	377,765,000円/179,700人分
担当課・グループ：医務薬務課薬務室薬事担当 電話：077-528-3634		

県では、県政や県のサービスのあり方等について県民理解を促進するとともに、職員のコスト意識を高めるため、サービス等に必要な費用等を明らかにする「値札」表示を試行しており、県ホームページでも紹介しています。

(アドレス http://www.pref.shiga.jp/gyokaku/price_tag.html)